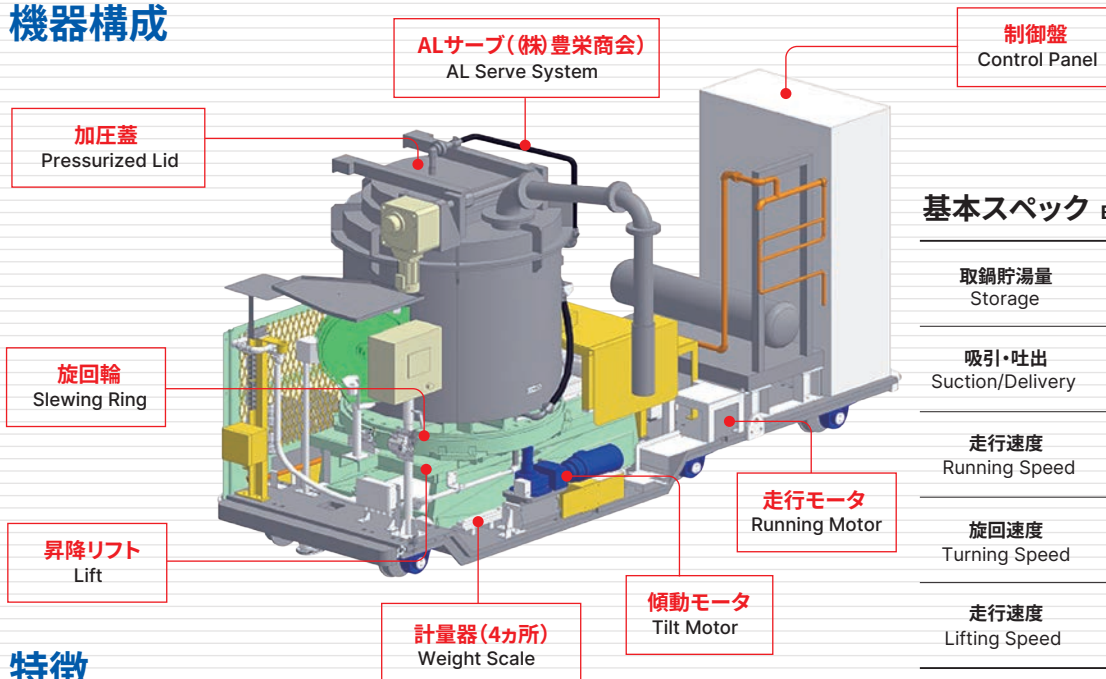


溶湯自動搬送システム

Automatic metal transfer system

機器構成



基本スペック Basic Specs

取鍋貯湯量 Storage	1200 kg/ch
吸引・吐出 Suction/Delivery	11 kg/min ※推定値
走行速度 Running Speed	45.4 m/min
旋回速度 Turning Speed	10.4sec (90°)
走行速度 Lifting Speed	35 mm/s (上昇) 39 mm/s (下降)

特徴

1 省エネルギー・ランニングコスト削減

- ポットの予熱装置にかかるエネルギーのみのため、エネルギー消費量ダウンに貢献
- ALサーブの吸引機能により、電磁ポンプが不要となり、定期補修費の削減
- 出湯用樋が不要になることで、ランニングコスト削減

2 フレキシビリティ・レイアウト

- 昇降装置を備えているため、高さの異なる保持炉への配湯もフレキシブルに対応可能
- 旋回機能も搭載しており、残った溶湯を任意の場所でインゴットケースに排出することも可能

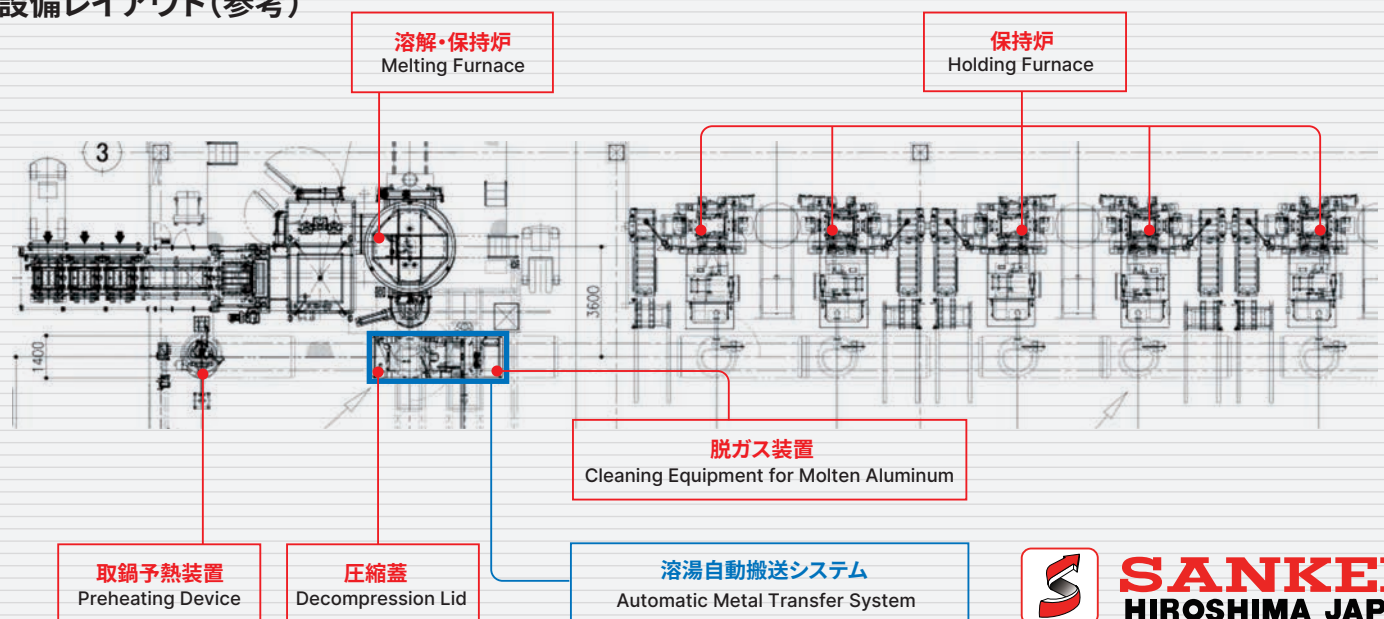
3 安全性の確保

- 搬送台車にレーザスキャナを搭載し、走行時の安全性を確保
- 走行エリアの区画は必要なく、作業中・フォークリフトがエリア内を通行可能
- ALサーブの搭載により、受湯・配湯時の溶湯飛散やタップ部からの溶湯漏れの心配はなし

4 溶湯品質改善

- 溶解炉・保持炉から直接溶湯を吸引・排出することで空気の巻き込みが少ない
- 同ライン上に脱ガス装置を設置することで、ALサーブ内で脱ガス処理が可能

設備レイアウト (参考)



SANKEN
HIROSHIMA JAPAN